



岩手県議会議員（滝沢選挙区）

松本たけし



県政報告

令和6年
11月18日発行

発行 松本たけし事務所

〒020-0663 岩手県滝沢市鶴飼諸葛川1-15

TEL / FAX:019-684-4000



HP



Instagram

No. 3

岩手県議会議員となり、1年が経過いたしました。

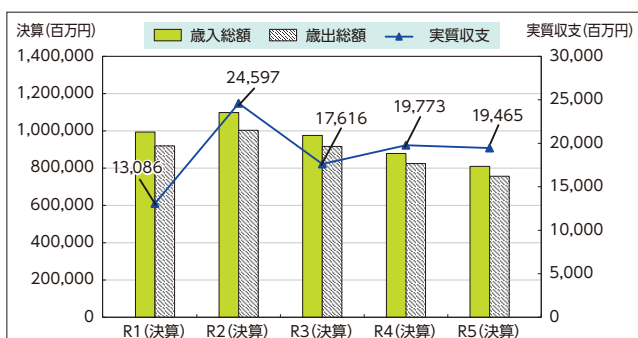
大変有難いことに、皆様方からお声がけいただくことが多くなるとともに、ご指導とご鞭撻も賜り、より良い地域と県政を目指し、日々奮闘できております。

これからも皆様方の声をひとつでも多く聴き、地域課題の解決に取組み、次世代にしっかりとこの誇れる岩手をつないでいけるよう一層精進してまいります。

令和6年9月定例会では、本年8月の台風5号や大雨の被害に対応した漁港施設、道路・河川の災害復旧や鳥獣害対策等への補正予算のほか、令和5年度岩手県一般会計歳入歳出決算、各特別会計の決算を審議いたしました。

令和5年度一般会計決算 歳入 8,277 億円 歳出 7,763 億円

令和5年度 岩手県決算収支の状況



(単位：百万円)

| 区分 | R1(決算) | R2(決算) | R3(決算) | R4(決算) | R5(決算) |
|------------------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| 歳入総額 a | 993,872 | 1,098,711 | 975,881 | 879,040 | 809,516 |
| 歳出総額 b | 919,329 | 1,003,255 | 916,638 | 824,677 | 756,669 |
| 歳入歳出差引額 c (=a-b) | 74,544 | 95,457 | 59,243 | 54,363 | 52,847 |
| 繰越財源 d | 61,457 | 70,860 | 41,627 | 34,590 | 33,382 |
| 実質収支 e (=c-d) | 13,086 | 24,597 | 17,616 | 19,773 | 19,465 |

岩手県の後年度における財政負担の推移

(単位：百万円、%)

| 区分 | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | |
|--------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減率 | |
| 岩手県 | 標準財政規模(A) | 405,635 | 3.0 | 391,048 | △3.6 | 390,646 | △0.1 |
| | 県債発額 | 83,221 | △15.6 | 60,984 | △26.7 | 50,534 | △17.1 |
| | 公債費 | 101,630 | 1.1 | 97,909 | △3.7 | 93,165 | △4.8 |
| | 県債現在高(B) | 1,333,677 | △0.7 | 1,304,527 | △2.2 | 1,269,350 | △2.7 |
| 東北6県平均 | 標準財政規模(a) | 413,671 | 3.9 | 400,428 | △3.2 | 401,331 | 0.2 |
| | 県債発額 | 97,593 | 0.5 | 77,600 | △20.5 | 71,681 | △7.6 |
| | 公債費 | 106,153 | 3.7 | 102,175 | △3.7 | 103,206 | 1.0 |
| | 県債現在高(b) | 1,292,495 | △0.2 | 1,273,291 | △1.5 | 1,246,875 | △2.1 |

岩手県令和5年度決算については

岩手県HPのトップページより [県政情報](#) > [予算](#) > [決算](#) > [令和5年度決算関係資料](#) に掲載されています。

(<https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/kessan/1077511.html>)

皆様方の声を基本に、決算審議等において認識した県政の足らざることを補い、県民福祉の向上と、岩手におけるより良いくらしと一層の産業振興に向け頑張っております！



●令和6年9月定例会本会議において、主に以下のことについて、一般質問・提言を行いました。

Q は、松本の質問。 **A** は県当局の答弁です。

滝沢市
IPU
イノベ

Q 今後さらなる拡張が予定されている滝沢市IPUイノベーションパークについて、東北最大のIT関連開発拠点を目指し、県が主体性を発揮して、企業誘致や立地する企業への就職促進に向けての取組を強化していくべきと考えるが、県の見解を伺う。

A 当該パークは、IT関連企業の誘致を進める上での大きな優位性を有しており、さらに、県立大学では今年度からソフトウェア情報学部2年生のカリキュラムにおいて、パーク内企業の見学と企業による講義を必修化などの取組を進めている。

今後、県立大学ソフトウェア情報学部の県内就職率をさらに高めていくため、パーク内企業と学生の交流やマッチングの機会をさらに増やしていくとともに、大学生による起業・スタートアップ支援、さらには、首都圏等からのU・Iターンの促進を図っていく。



滝沢市IPUイノベーションパーク

松本の考え

人口減少のその本質的要因の一つに、若年層の将来の雇用や経済基盤への大きな「不安」や「閉塞感」があると思っています。

今を担う我々がその責任において、その「不安」の解消に全力を注いでいかなければなりません。そのためにも、若年層を中心とした経済対策、特に、中小企業振興や企業誘致による雇用の創出、県民所得の向上にもっと注力すべきです。

さらなる地方の衰退と都市部等への集中は、災害等のリスクを高めるとともに、特に医療・福祉・教育などにおいて持続可能性を大きく損なうものです。長期的な視点を持ち、均衡ある経済発展が日本全体の安定と繁栄に必要不可欠です。

いわて 農業 ビジョン

Q 本県においては基幹的農業者数(2020年現在4万4千人)が20年後には1万人を割り込むことも想定され、食料生産供給力の維持が大きな課題である。
現在、県では、今後の岩手農業振興の柱となる中長期的な「農業ビジョン」が農政審議会等の意見を踏まえて検討されているが、ビジョンの目指すところ、また、検討状況について伺う。

A 食料自給率が100%を超える本県においては、気候変動やGXの進展など、本県農業を取り巻く環境が変化
する中、本県のもつ強みをより一層発揮し、我が国の食料供給
基地としての役割をしっかりと果たしていくことが重要と考え
ている。

この岩手からあるべき日本の農業の姿を実現するよう、農業
ビジョンは、市町村・関係団体・生産者と一体となって、農業
生産の増大や人材の確保・育成などの方向性を示し、本県農業
を強化する役割が期待される。

これまで、岩手県農政審議会において意見を伺ったほか、県
内全ての市町村や農業協同組合長等
との意見交換を実施したところであり、「食料・農業・農村基本計画」
の策定などの動向も踏まえつつ、農
業ビジョンの策定を進めていく。



松本の考え

「いわて農業ビジョン」には、安全安心は
大前提として、環境負荷低減に先進的に取組
みながら、採算性を重視した取組を強力に後
押しすることを期待します。農業所得の確保
が見通せなければ、農業を担う人がなくな
るのは当然です。

また、岩手ブランドの発信強化に向け、さら
に市場性の高い産地形成を訴求していくも
のでなければなりません。そのためにも、世
界に誇れる岩手の農林水産物を、世界で最も
有名な大谷選手に一言「イワテ ベリー デ
リシャス」と発信してもらうだけで、絶大な
効果があると考えます。大谷選手の岩手アン
バサダーへの就任について、オール岩手一丸
となり、お願いしたいです。

不登校 対策

Q 不登校対策では、その背景にある家庭環境の複雑化、深刻化という現状に対し、
学校独自での改善・解決は難しく、専門的見地から不登校児童生徒を取り巻く
環境に働きかける福祉専門職としてのスクールソーシャルワーカー(以下、SSW)の
役割は大きいものがある。

県は今の教育現場におけるSSWの必要性をどう捉えているのか、また、現状のSS
Wの体制や活動における課題認識について伺う。

A SSWは、社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り
巻く環境に働き掛け、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩み
や抱えている問題の解決に向けて支援をするなど、重要な役割を担っている。

課題として、相談件数が年々増加し、問題も複雑化・多様化していることから、SSW
の専門性の向上に加え、保健・医療など、多くの専門家との連携を強めていく必要となっ
てきており、スーパーバイザーによる助言や研修内容等の充実に取り組んでいく。



松本の考え

SSWは、子どもやそのご家族に寄り添うた
め、時間外や土日に家庭訪問等を行うケース
が多々あります。

現在、県では18名、また6市町では独自に
SSWを配置していますが、その雇用形態はほ
とんどが非常勤職員であり、身分も報酬も生活
をしていくうえで保障されたものではなく、長
い目で子どもたちを支えていくためにも雇用形
態・処遇の改善は必要です。



医療的 ケア児 への支援

Q 本県の医療的ケア児は、令和4年4月現在で253名であり、平成30年の調査から58名増加している。

県において、医療型短期入所事業所は6施設、利用定員も17名となっているが、一部地域への集中などの課題がある。他県でも実施している医療型短期入所施設の開設にかかる支援事業について、現在の検討状況と今後の見通しについて伺う。

A 在宅の医療的ケア児を持つ家族の介護負担軽減に関するニーズは高いことから、既存の医療提供施設などを活用した医療型短期入所事業所の拡充は重要である。

他県の取組も参考としながら、今後開設を目指す医療型短期入所事業所と医療的ケア児及びその家族とのマッチングの機会を設ける取組について検討を進めるほか、新規参入を考えている事業者に対する丁寧な助言を行うなど、開設促進に向けた取組を進める。



松本の考え

県議会では去る6月定例会において「医療的ケア児等への支援の充実を求める意見書」を採択し、国に対し意見書を提出しています。患児やその家族の不安や負担の軽減、家族の急な病気等に対応するため、短期入所やレスパイトの提供体制の確保・充実が重要となってきております。

県立病院 の経営

Q 一般会計から県立病院等事業会計への繰出しについて、毎年約220億円前後となっており、約半分程度の交付税措置はあるものの、いわゆる真水の一般財源が、この10年間合計で1,028億円投入されている。

中長期の財政シミュレーションからも今後厳しくなっていく本県財政にあって、自然減・社会減対策、GXの推進を一層強化していく必要があり、一般会計からの繰出し金水準の適正化を図っていく必要があると考えるが、知事の考えを伺う。

A 県立病院は高度医療や救急医療の提供に加え、初期医療等の役割も担うなど、県民福祉の増進のため、最も重要な社会基盤を直接県民に提供している。



県民の医療を守りながら、病院事業以外の多様化する行政需要にも十分に対応していくためには、病院事業会計への繰出しについても、不断の検討を進めていく必要があり、次期経営計画の取組状況等を踏まえながら、適正な規模の投資を求めるなど、毎年度の予算編成において、その水準を検討していく。

松本の考え

県民への良質な医療提供とこれを支える持続可能な経営基盤の確立は、どちらも欠くことのできない重要な課題であり、そのバランスを取りながら機能集約と連携強化を丁寧に進めていかなければなりません。

そして、県として未来に向けた投資とのバランスが大事であり、今後の県税収の見通しの中でどこまで負担できるのかということも考慮に入れ、一般会計からの繰出金を中長期的にどの程度まで圧縮できるかという検討も併せて進めていく必要があると考えております。



以上のほか、人口減少対策では【その本質的要因とかかる施策の展開】、農業分野では【畜産飼料高騰対策、農業共同利用施設の更新・整備、中山間地域の対策、農福連携等】について、障がい者福祉では【岩手県立療育センターの運営】等について、一般質問を行いました。

一般質問・答弁の詳細はHPに掲載しております。

●決算特別委員会においては、主に以下のことを質疑・提言いたしました。

1

中期財政見通しがかなり厳しい状況にあって、未来への挑戦・投資を後押しするための財源確保策として、

- 現在発行している「グリーン/ブルーボンド」(環境債)の積極的な活用や環境負荷低減に資する農業への使途拡大、チャレンジングな農業施策に資するアグリボンド的なものの発行について
- さらには、岩手県企業局による電気事業会計(水力発電、太陽光・風力発電)は、毎年安定した利益(令和5年度は16億円)を計上していることから、より積極的なGX推進や農業部門への還元(一般会計への繰出)について



2

「日本海溝・千島海溝周辺型地震」が想定され、自ら避難することが困難な高齢者や障害者等にかかる個別避難計画策定等、要支援者をはじめ市町村への支援強化



3

動物愛護の推進について、殺処分ゼロを「動物愛護管理推進計画」に明確に目標設定すべきこと、また、現在検討が進められている「動物愛護センター」の整備について、しっかり命を守る場所としての施設整備や管理運営体制の確立



4

更なる生産性向上に向け中小企業をはじめとした商工指導団体への支援(商工業小規模事業経営支援、事業再生・再チャレンジ支援等)の継続・強化



活動報告



Activity Report ●

農林水産委員会の主な調査活動

5月

23日(木)
~24日(金)



福島県水産資源研究所
福島県における栽培漁業の取組や水産業の振興に関する試験研究について



福島県農業総合センター果樹研究所
果樹栽培における気候変動の影響と対応に関する研究の状況等について



株式会社一戸夢ファーム
新規就農者や農業後継者の育成等に係る取組について



弘果総合研究開発株式会社
りんご高密度植栽培経営モデル園や新規就農者確保に係る取組について

7月

25日(木)
~26日(金)

滝沢市における主な県営事業の進捗状況

とくさがわ 一級河川木賊川広域河川改修事業

- 施行場所 滝沢市 穴口地内ほか
- 事業期間 昭和61年度～令和19年度（1986～2037年度）
- 事業進捗状況

単位：百万円

| 年度 | 全体額 | R4迄 | R5 | R6 | R7以降 | 進捗率 |
|-----|--------|-------|-----|----|-------|-------|
| 事業費 | 13,748 | 6,212 | 262 | 50 | 7,224 | 47.5% |



都市計画道路 下鶴飼御庭田線 鶴飼八人打地区 街路事業

- 施行場所 滝沢市 鶴飼八人打地内
- 事業期間 平成30年度～令和6年度
- 事業進捗状況 ※令和6年度完了見込み

単位：百万円

| 年度 | 全体額 | R4迄 | R5 | R6 | 備考 |
|-----|-----|-----|----|----|------------|
| 事業費 | 450 | 295 | 36 | 80 | 残事業費 39百万円 |



県議会のしくみ

①「県議会では、いつ、どんなことを決めているの？」

県議会には、定例会と臨時会があり、知事が招集します。

定例会は、**2月(主に次年度当初予算審議)**、**6月**、**9月(主に前年度決算認定)**、**12月**の年4回開かれ、県民の皆さんの生活に深いかかわりのある県政の方針や予算(補正予算は都度必要に応じて)、条例、意見書、請願陳情などを審議します。臨時会は、必要があるときに開かれます。

▼ 松本の主な議員活動 ▼

本会議、常任委員会、特別委員会、かかる調査等で約100日程度が公務となります。

それ以外の日は、地域や市町村、業界団体からの要望調査や様々な地域課題解決に向けた個別調査を行っているほか、省庁への要望活動等を行っています。また、地域行事等への参加を通じて皆様方の声を聴いているほか、党務等を行なっています。

松本たけしは、これからも県民・現場目線で、未来志向で県政に取り組んでまいります。いつでも何なりと皆様方の声をお聴かせください。

松本たけし プロフィール



昭和47年7月1日生
平成3年3月
平成7年3月
平成7年11月～令和5年3月
平成21年～現在

- 家族構成
- 趣味
- 大切にしている言葉
- 岩手県議会
- 自民党岩手県支部連合会

西和賀町(旧湯田町)に生まれ幼少期から高校卒業まで北上市で過ごす
岩手県立黒沢尻北高等学校 卒業
東北大学農学部農業経営学科 卒業
岩手県農業協同組合中央会(在職期間27年5か月)
岩手県滝沢市鶴飼 在住

妻、長男、次男、三男、犬2匹
山歩き、家庭菜園
至誠にして動かざる者は未だ之れ有らざるなり 全体は部分の総和に勝る
農林水産委員会、県政調査会、議会改革推進会議
副幹事長・政調副会長

ご意見を
お寄せください

松本たけし事務所

〒020-0663
岩手県滝沢市鶴飼諸葛川 1-15
TEL / FAX : 019-684-4000
e-mail : matsumoto1@takeshi-m.com



HP

Instagram